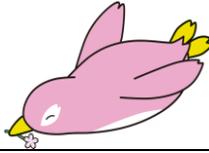




中台中学校

# 中台だより 第7号



発行 板橋区立中台中学校

発行日 令和7年11月14日

さくら草学びのエリア 中台中学校・中台小学校・若木小学校

\*「中台中学校だより」は中台中学校のホームページにも掲載しています。

## 令和7年度 文化発表会！

校長 宮澤 一則

10月24日(金)に中台中学校 文化発表会を開催しました。午前の部は「合唱コンクール」で、7年生・8年生・9年生の順に、全体合唱と各クラスの自由曲合唱を行いました。今年は、学年生徒全員が舞台に立ち、全体で合唱したので、ものすごい迫力がありました。特に9年生の全体合唱は、きれいなハーモニーで素晴らしい歌声を聞かせてくれたので、鳥肌が立つくらいでした。

7年生は、まだ声変わりをしていない生徒もいるので、バランスをとるのが難しそうでしたが、元気よく歌っていました。8年生は、一生懸命練習していた成果が出ていたと思います。少ない人数でしたが、強弱を付けたり、詞の意味を考えたりと表現の工夫が伝わってきました。9年生は、さすが最上級生という迫力ある歌声を聞かせてくれました。そして、最後となる学校全体の行事で「一生懸命はカッコいい！」を示してくれました。9年生の姿を見て、後輩も頑張ってくれと信じています。

午後は、「広島・長崎平和の旅」「マレーシア海外派遣」の報告があり、そのあと演劇部と吹奏楽部の舞台発表がありました。平和の旅の発表では、代表生徒が実際に見て感じてきたことをプレゼンテーションにまとめ、発表しました。普段我々は当たり前のように毎日を過ごしていますが、今でも戦争をしている国があるなど、平和を維持するには努力が必要であることに改めて気づかされました。

マレーシア海外派遣では、マレー人、中国人、インド人が混在しながらも仲良く暮らしている様子を報告してくれました。宗教や文化が異なっても、互いを受け入れながら平和に生活しているところは、学ぶべきところがあると思います。発表の最後にマレー語で挨拶していたのが印象的でした。

演劇部の「イマジ」は、いじめや平和、国籍の問題など、盛りだくさんの内容が含まれていましたが、中学校生活というストーリーを通して、深く考えさせられる劇でした。ジョン・レノンの「イマジ」の合唱が象徴的で、劇の中で良い効果を出していました。

吹奏楽部は、「我ら吹部のハーモニー ♪～中台から世界へ～」と題して、生徒たちの知っている曲を演奏してくれました。手拍子や掛け声、ペンライトの応援などがあり、体育館が揺れるくらいの盛り上がりでした。観客の要望に応じて、アンコールも披露してくれました。

今回の文化発表会でも、実行委員が本当によく活躍してくれました。リハーサルやクラスでの練習など、みんなをまとめ、本番に向けての努力には頭が下がるほどです。実行委員も頑張り、他の生徒たちもよくそれに応えたと思います。中台中の生徒たちにとって、思い出に残る文化発表会になったと思います。

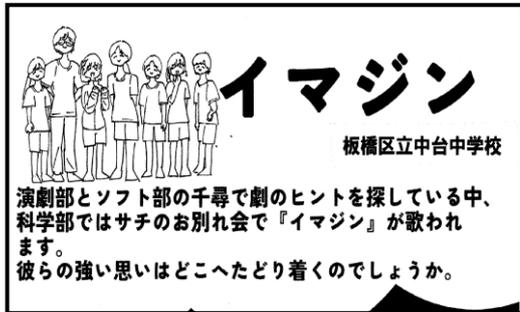


# 板橋区中学校 音楽祭・演劇発表会！

11月1日(土)に文化会館において、第22回板橋区ジュニア音楽祭と令和7年度板橋区演劇発表会が開催されました。大ホールの入り口には、中台中家庭科部の生け花が展示され、来場者を温かく迎えていました。

吹奏楽部は、午前中に大ホールで、マーチ「プロヴァンスの風」「倍倍 FIGHT」「かわいいだけじゃだめですか？」を演奏しました。演劇部は午後、小ホールで「イマジン」を公演しました。どちらも、音響や照明などの影響もあるのか、中台中の体育館で披露してくれたときよりも、素晴らしい発表になっていた感じがしました。

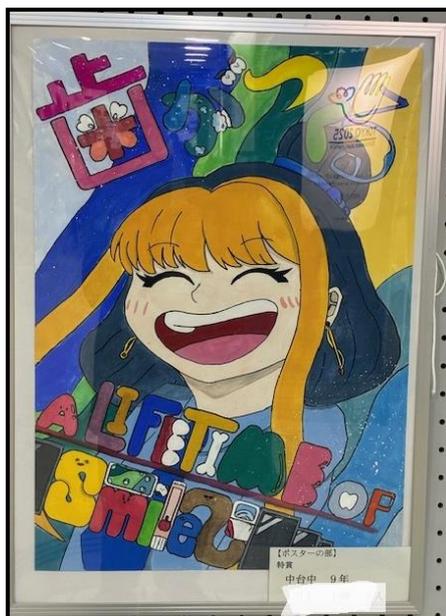
なお、演劇部の「イマジン」は板橋区の代表として都大会に出場することが決まりました。



## 令和7年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」

11月5日(水)に会議のため、区役所に行ってきました。1階のロビーに行ってみると、令和7年度「歯・口の健康に関するポスターコンクール」の入賞作品が掲示されていました。小学生の部では、区内の様々な小学校から選ばれた作品が展示されていました。中学生の部を見てみると、ほとんどの作品が中台中の生徒たちのものでした。

これらの中の1点は、東京都学校歯科医師会から佳作に選ばれ、特別な場所に掲示されていました。また、板橋区として中台中の生徒たちが選ばれたものは、特賞1点(都の佳作と同じ作品)、第1位・第2位・第3位がそれぞれ1点、佳作が10点でした。これらの作品は中台中の美術部の生徒たちのもので、普段の活動の成果が現れた証拠だと思いました。



<東京都の佳作に選ばれた作品>



<板橋区で入選した主な作品>